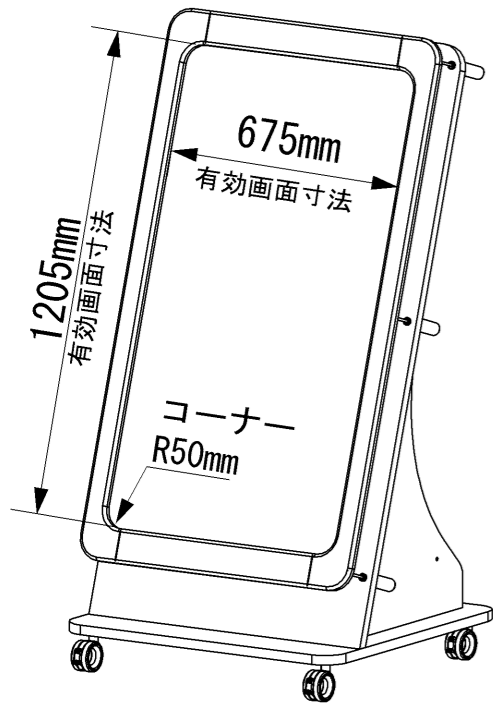


お買いあげいただきありがとうございます。  
組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。  
そのあと大切に保管し、必要なお読みください。

●商品、組み立てに関する  
お問い合わせは  
右記URL、電話番号まで

朝日木材加工株式会社  
http://www.asahiwood.co.jp  
〒440-0071 愛知県豊橋市北島町字北島87番地 TEL (0532)53-3338  
※住所電話番号、URLは変更になることがありますのでご了承ください。

### 完成図

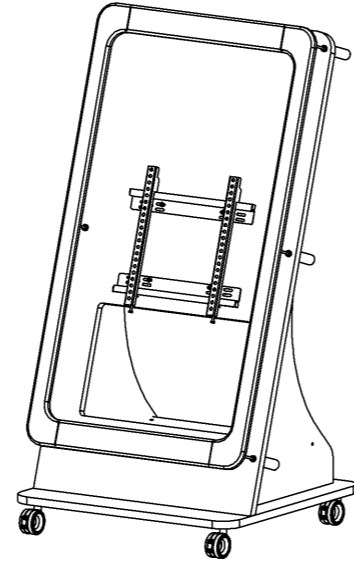


対応ディスプレイサイズ  
55V

耐荷重の目安  
ディスプレイ:35kg

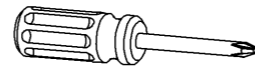


大型商品の為  
2人での組み立てを  
推奨します。

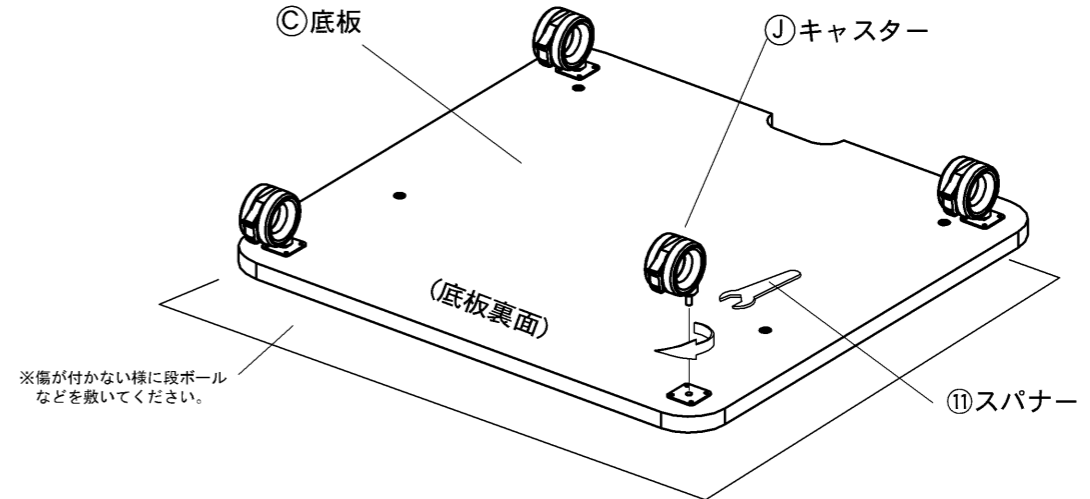


【スタンド本体の完成イメージ】  
(ディスプレイは別売です。)

プラスドライバーをご用意ください。

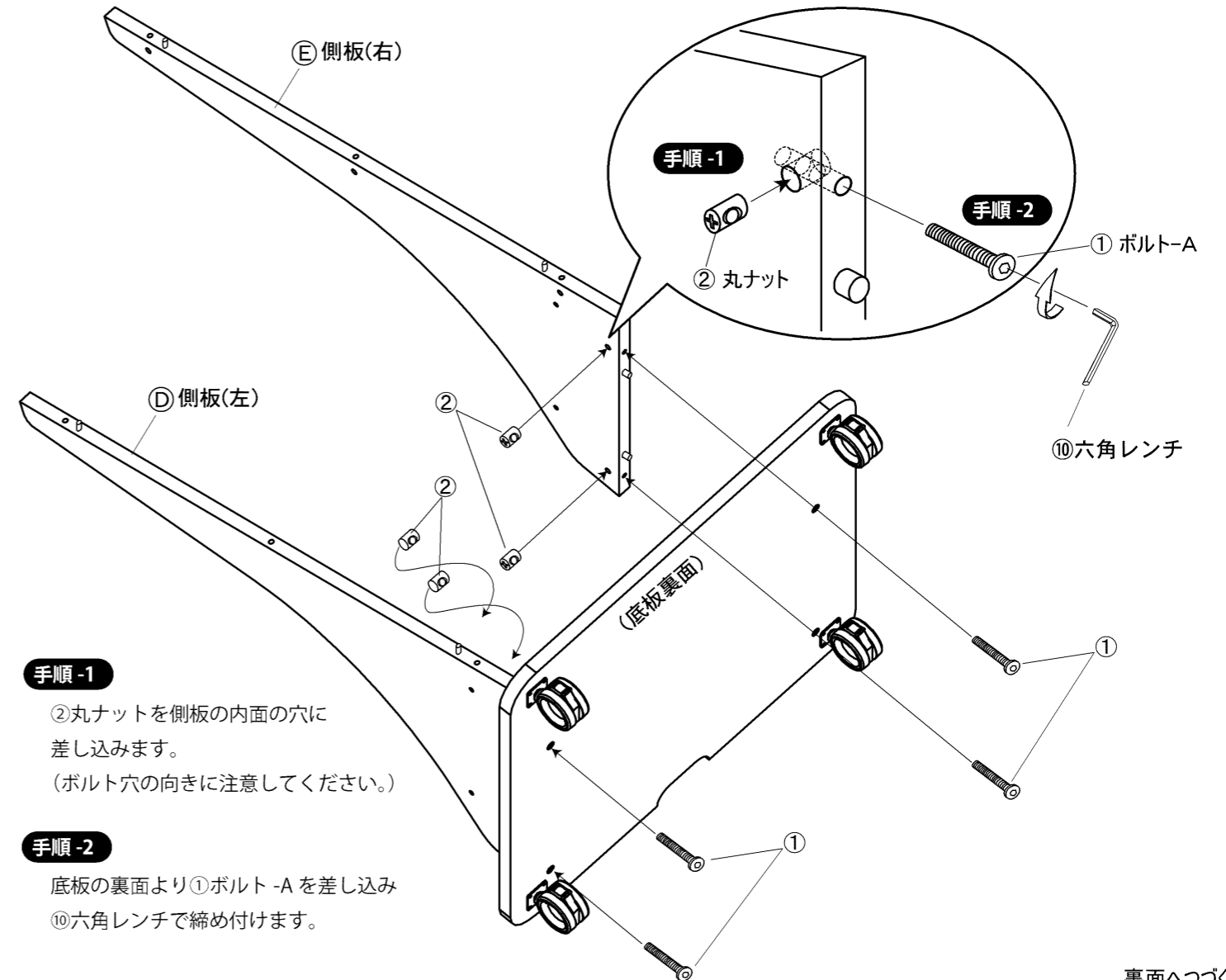


## 1 底板へキャスターの取り付け



※傷が付かない様に段ボール  
などを敷いてください。

## 2 側板の組み立て



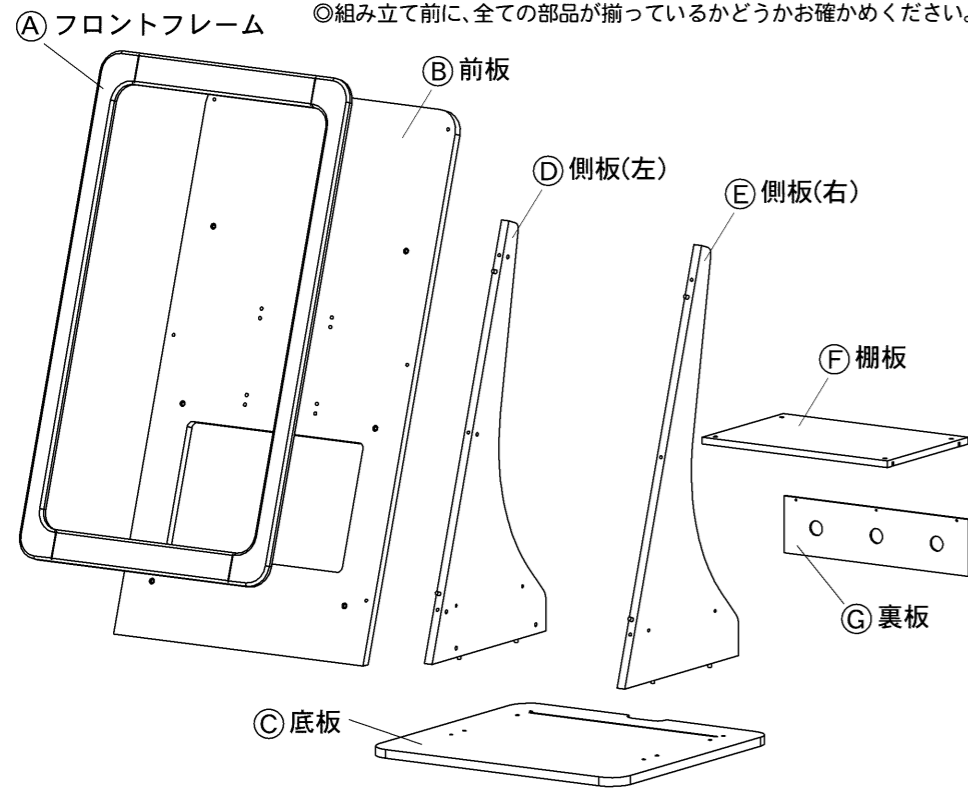
### 手順-1

②丸ナットを側板の内面の穴に  
差し込みます。  
(ボルト穴の向きに注意してください。)

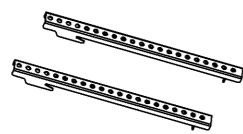
### 手順-2

底板の裏面より①ボルト-Aを差し込み  
⑩六角レンチで締め付けます。

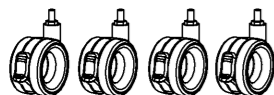
◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。



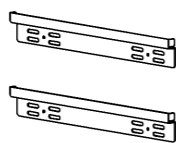
H ディスプレイ取付金具x2



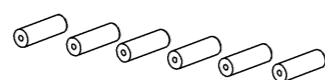
J キャスターx4



I 受け金具x2



K 木製ハンドルx6



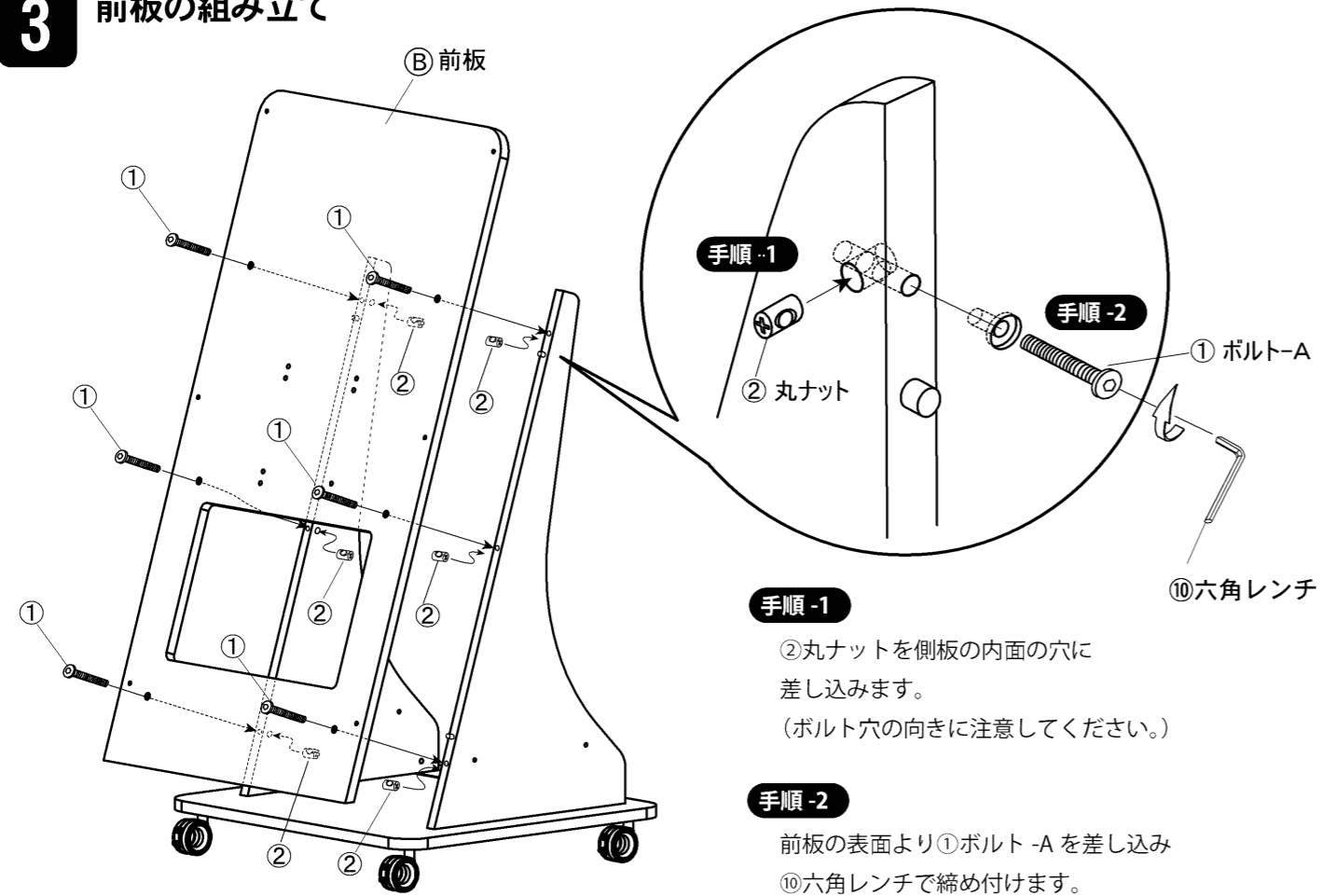
### サイネージスタンド組み立て用

No.	部品図	部品名	数量
①		ボルト-A M6x60	14
②		丸ナット φ10x16	14
③		ボルト-B M6x25	4
④		ワッシャー 6.5mm	4
⑤		スプリング ワッシャー (大) 6.2mm	4
⑥		ボルト-C M4x15	3
⑦		アジャスター ボルト	6
⑧		アジャスター ナット付	
⑨		ボルト-C M6x60	4
⑩		六角レンチ (4mm)	1
⑪		スパナ (14mm)	1

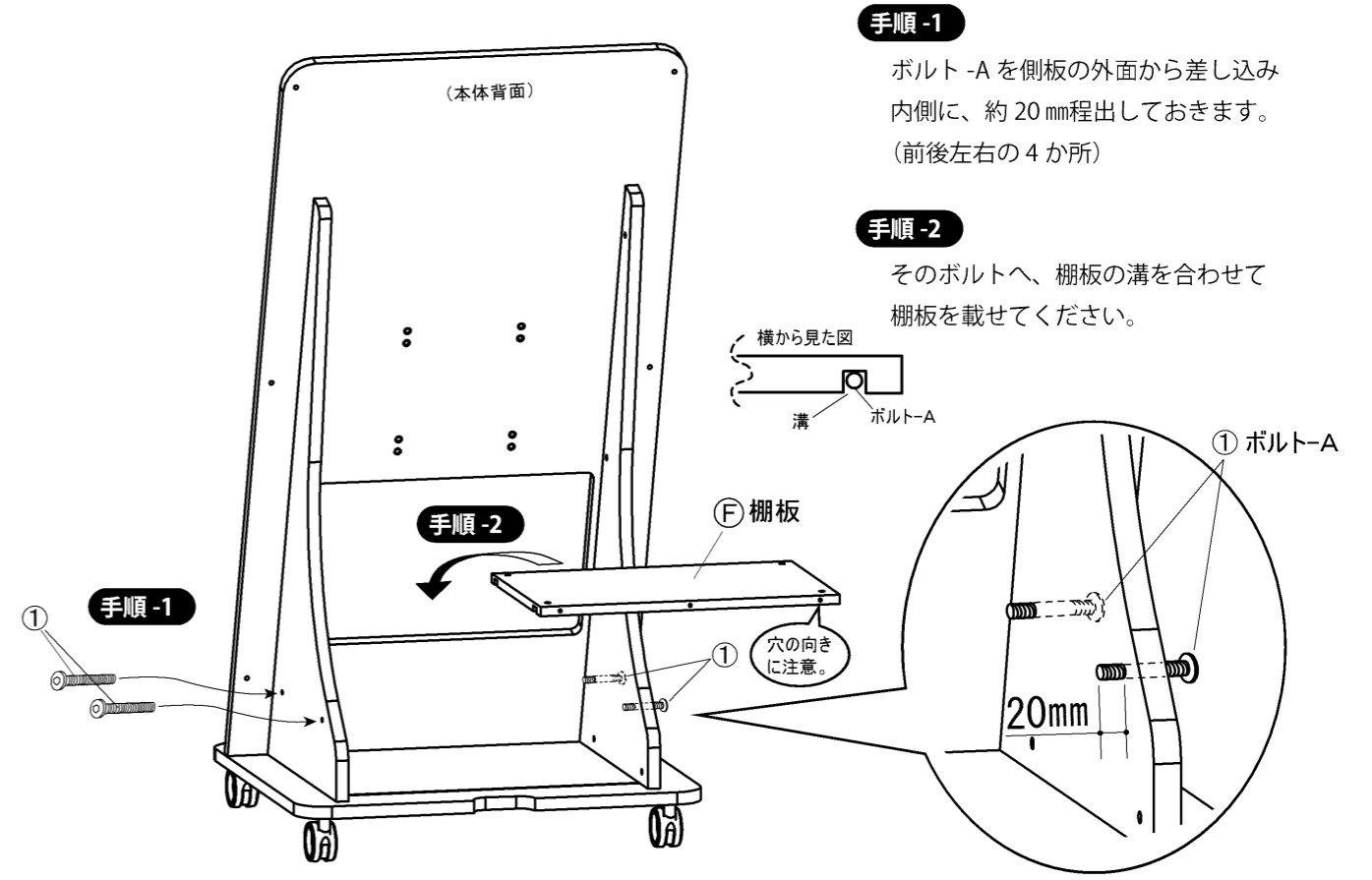
### ディスプレイ取り付け用

No.	部品図	部品名	数量
⑫		ボルト-1 M6x35	4
⑬		ボルト-2 M6x25	4
⑭		ボルト-3 M6x15	4
⑮		ワッシャー 6.5mm	4
⑯		スペーサー	8

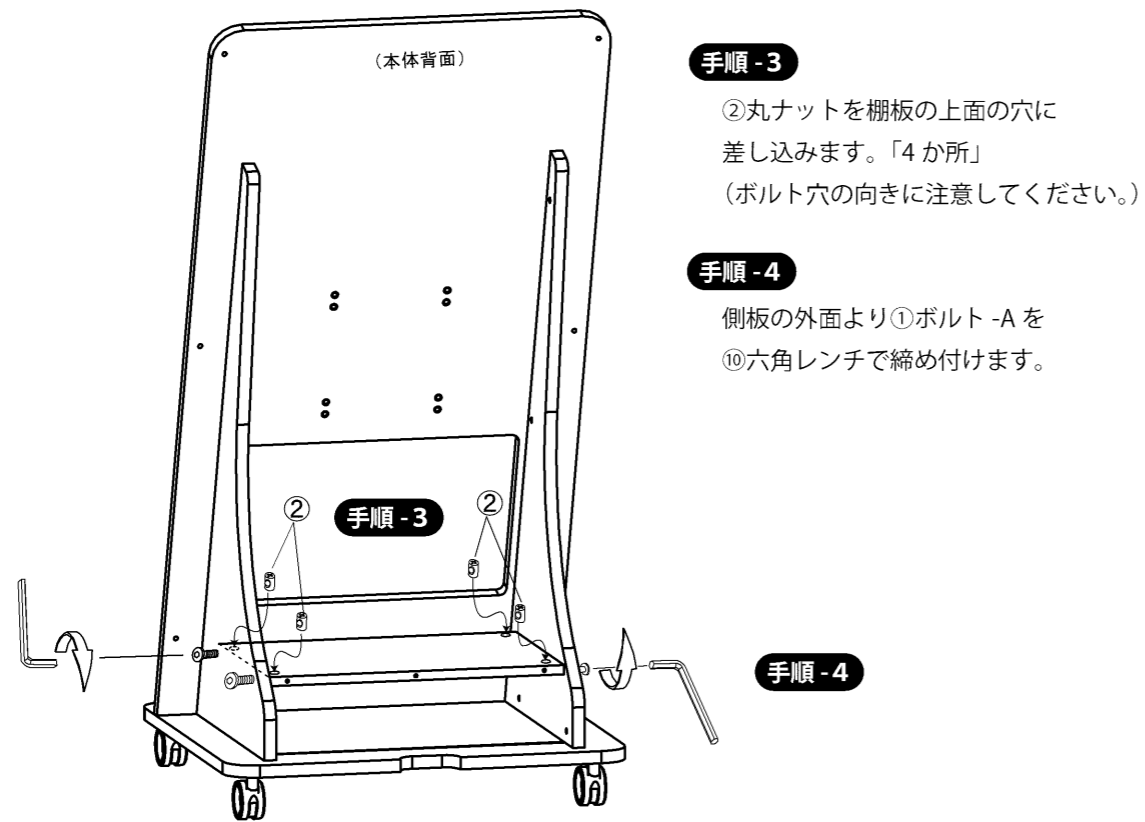
### 3 前板の組み立て



### 4 棚板の組み立て(その1)



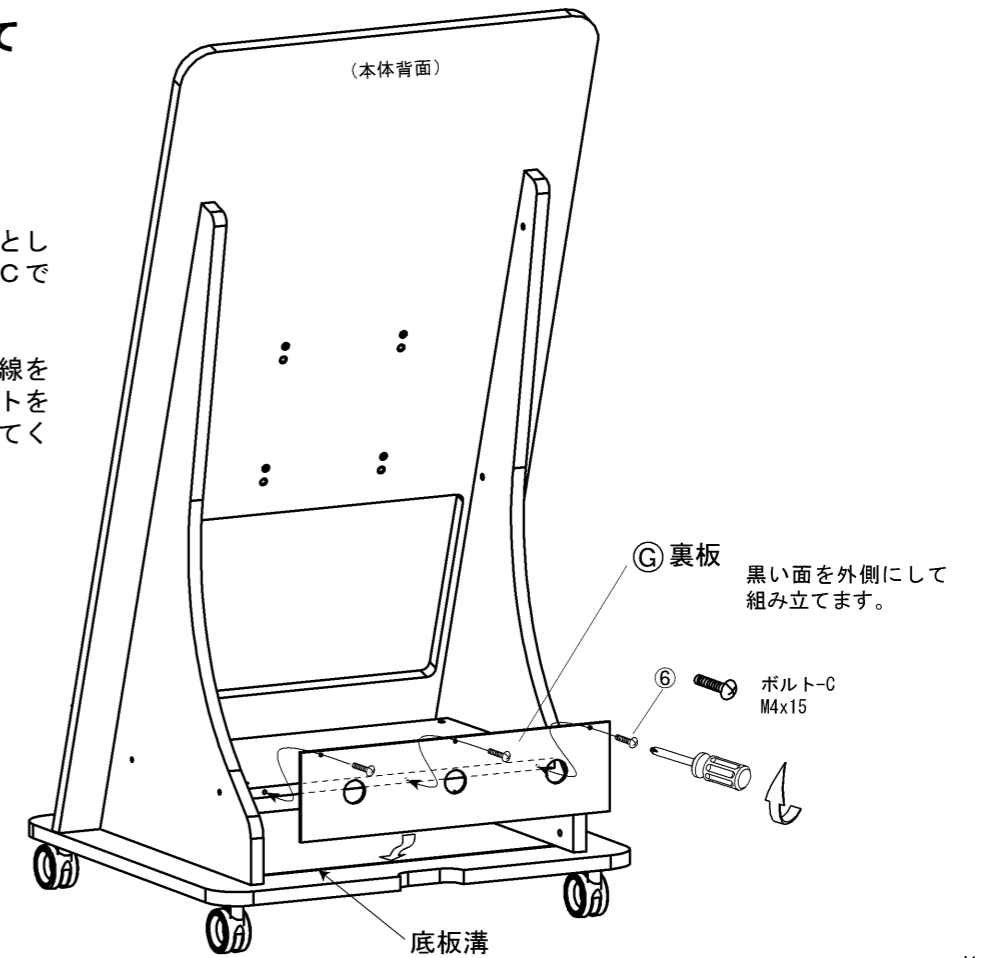
### 5 棚板の組み立て(その2)



### 6 裏板の組み立て

裏板を底板の溝に落とし込んで、⑥ボルト-Cで固定します。

STBの収納や配線をする時は、このボルトを緩めて裏板を脱着してください。



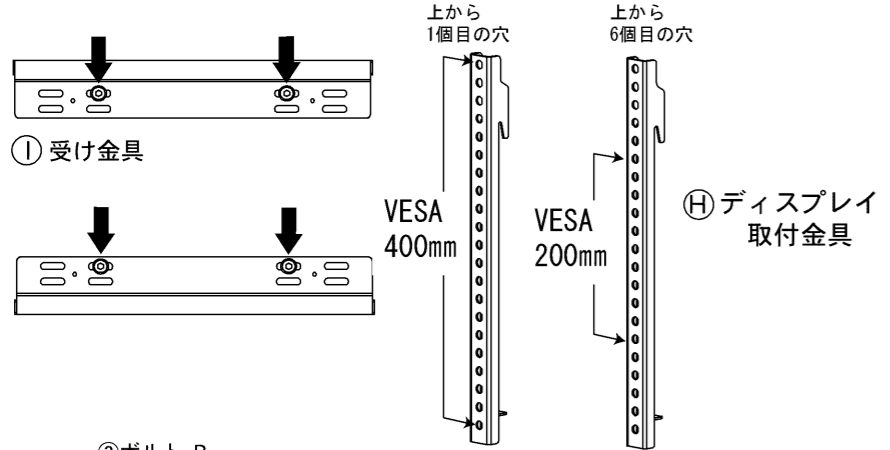
# 7 受け金具の取り付け、及びディスプレイ取付金具の取り付け

**!** ディスプレイのVESA穴の寸法(ピッチ)によって、組み立てるネジ穴が異なります。400mm、200mmの場合は、本体の穴、受け金具の穴はどちらも上の穴を使います。300mm、100mmの場合は、本体の穴、受け金具の穴はどちらも下の穴を使います。

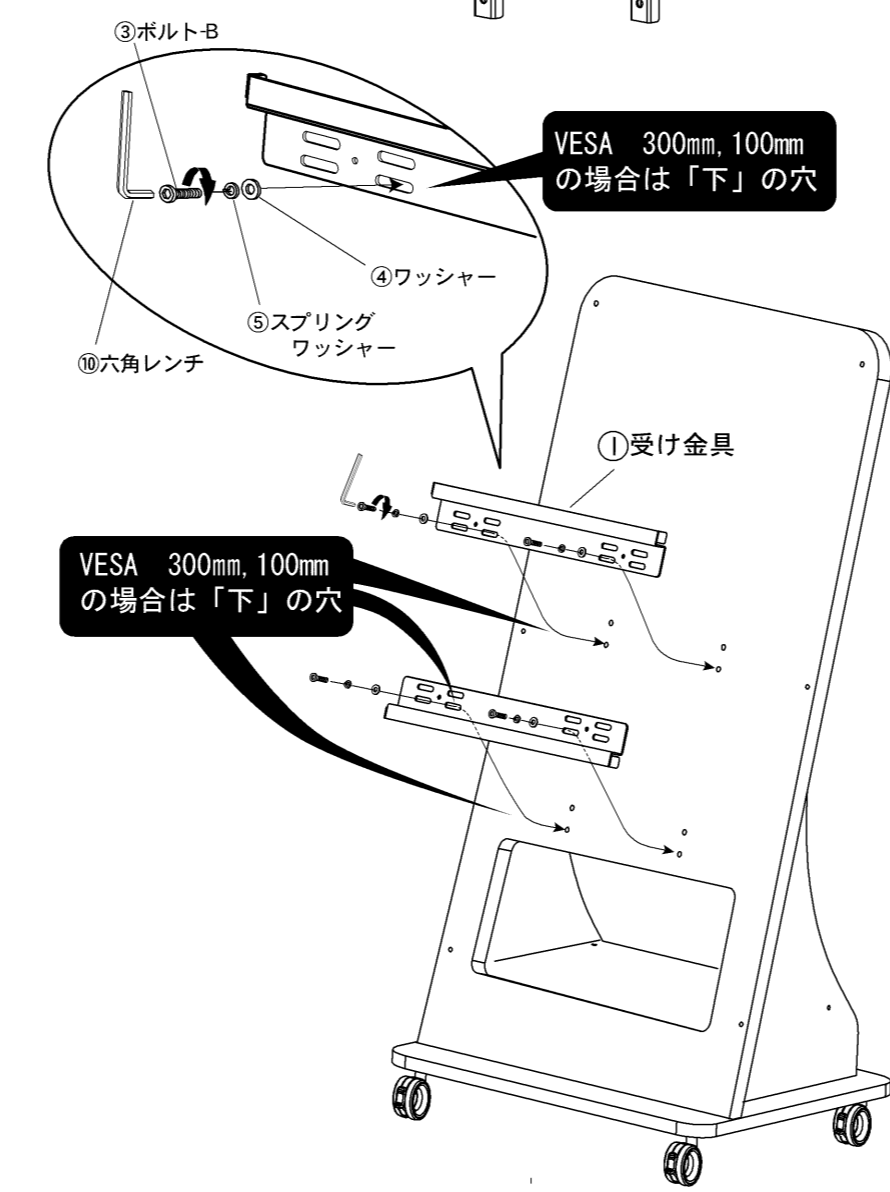
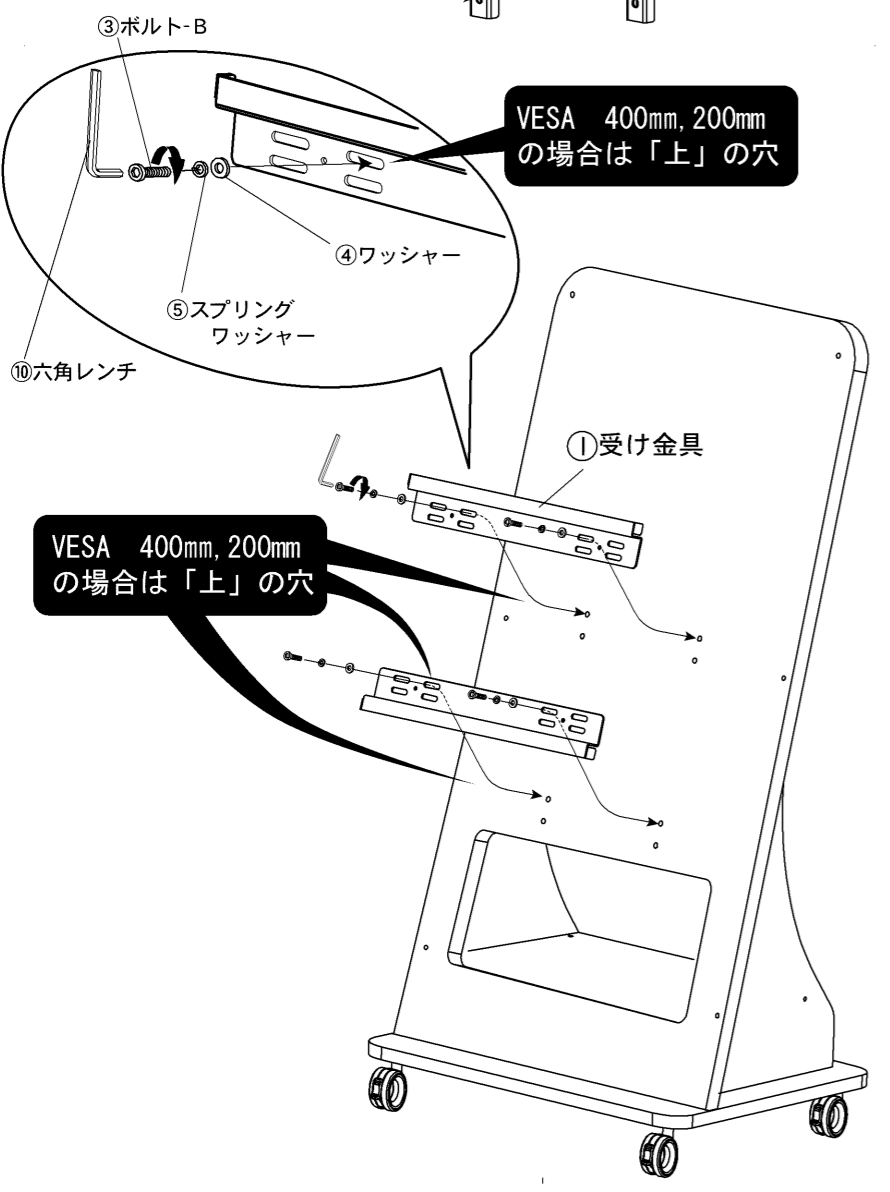
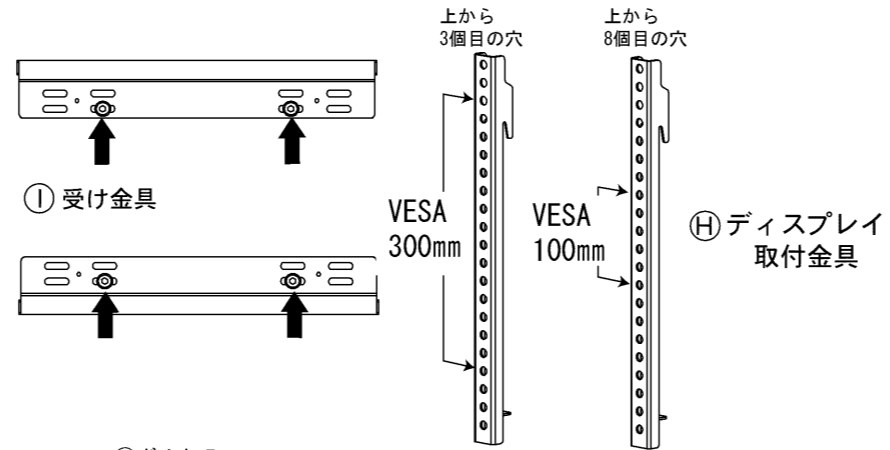
受け金具向き、ボルトの取付穴の位置に注意して組み立ててください。

受け金具のネジ穴は長穴になっていますので、左右のバランスを見て組み立ててください。

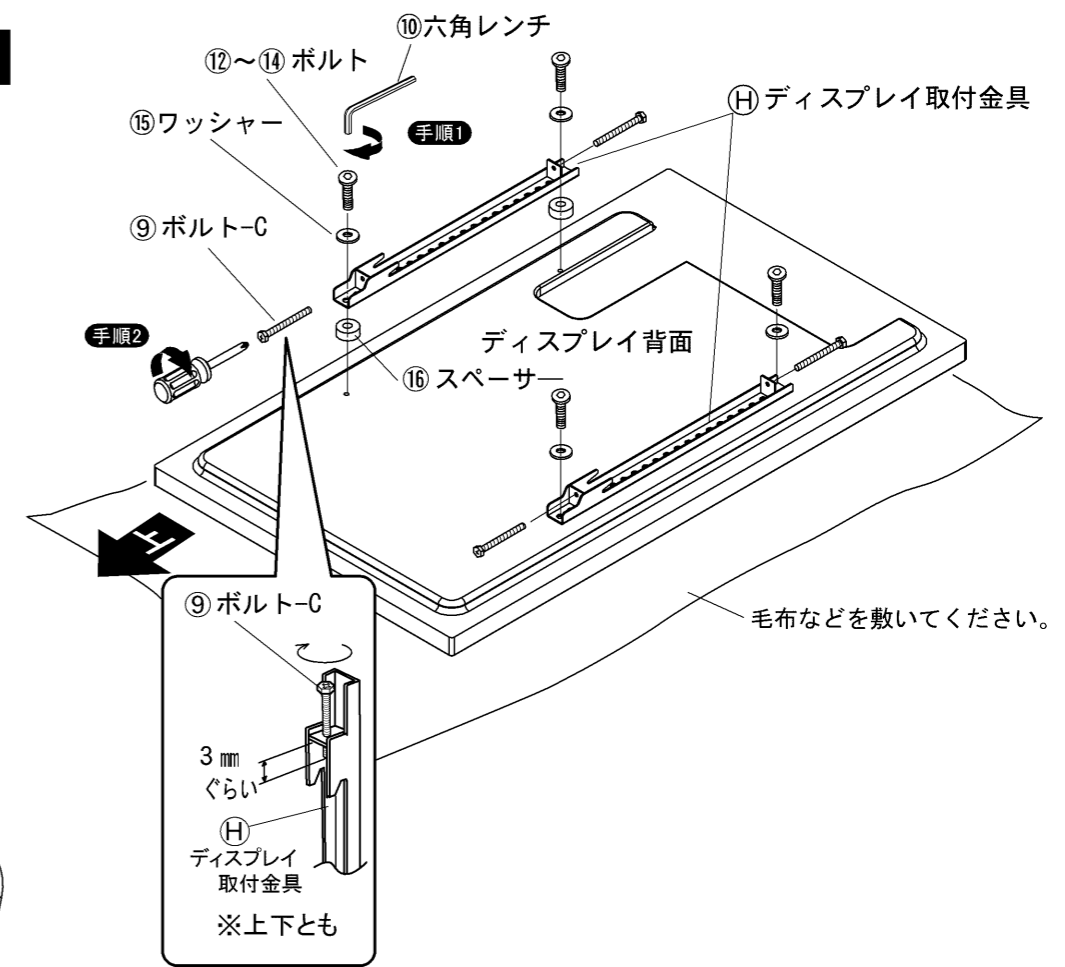
## VESA 400mm,200mmの場合



## VESA 300mm,100mmの場合



ご使用になるディスプレイに合わせたネジでディスプレイ取付金具を取付けます。  
 ⑫ M6x35/ ⑬ M6x25/ ⑭ M6x15の各種ボルトを、必要に応じてご使用ください。  
 付属のネジで取付けられない場合、ボルトのサイズをメーカーにご確認して頂き別途お求めください。  
 ⑯ スパースーは、ディスプレイ背面の形状や、配線位置に応じて使用してください。

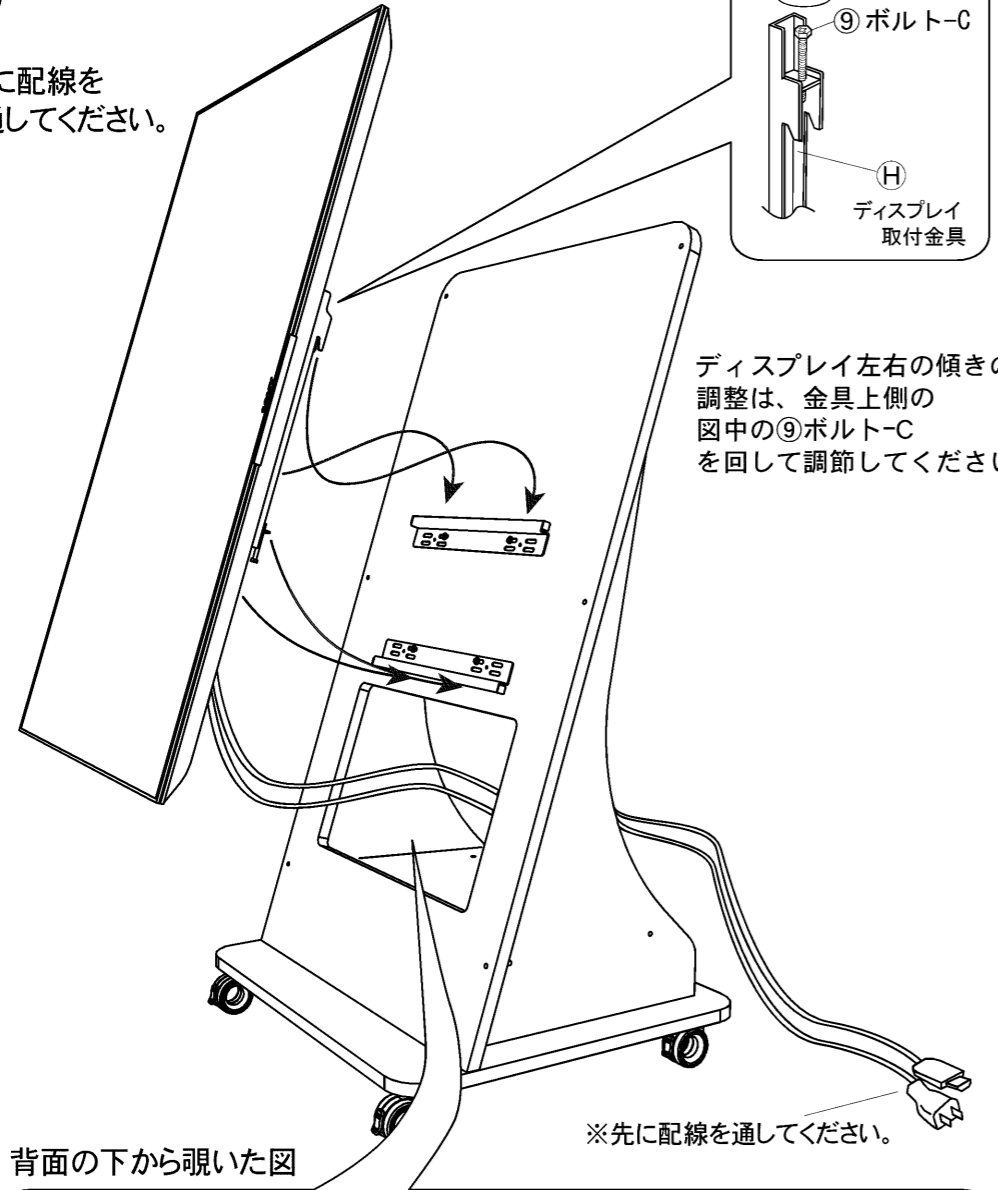


**!** ディスプレイ取り付けのボルトは、ディスプレイにより異なりますので、最適なボルトをご確認の上、ご使用ください。サイズの異なるボルトをご使用になるとディスプレイ本体を破損する恐れがありますので十分ご注意ください。

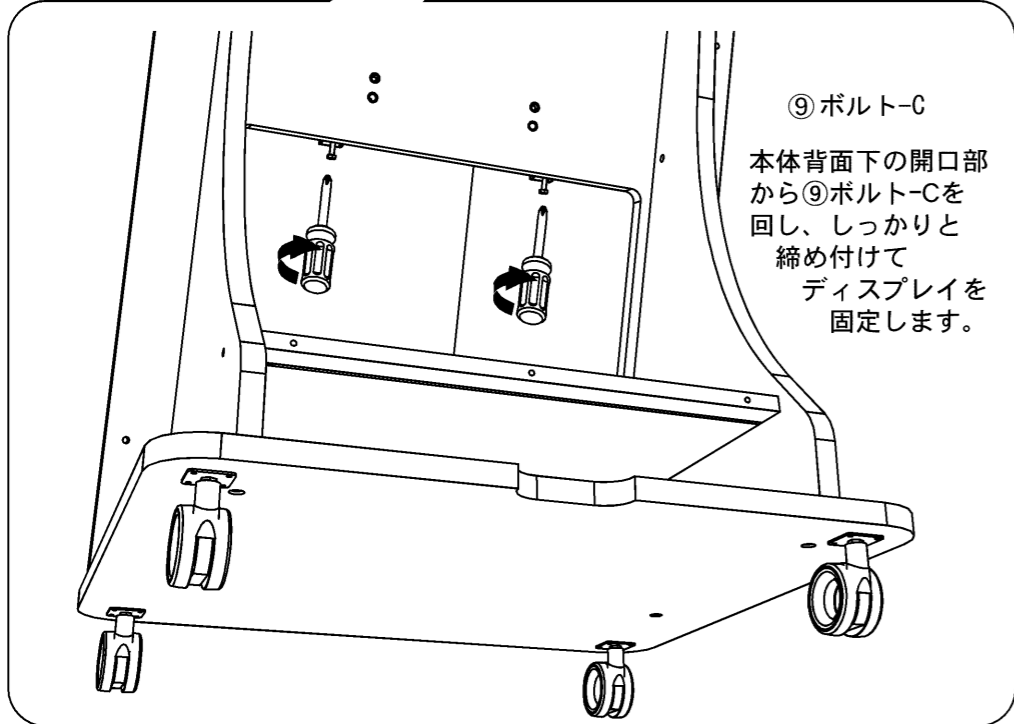
**!** VESA穴の面とベゼルの前面までの厚みが30mm以下のディスプレイをご使用の場合は、⑯スパースーを必ず使用してください。(フロントパネルの位置調整が出来なくなります。)

## 8 ディスプレイの取り付け

※先に配線を通してください。

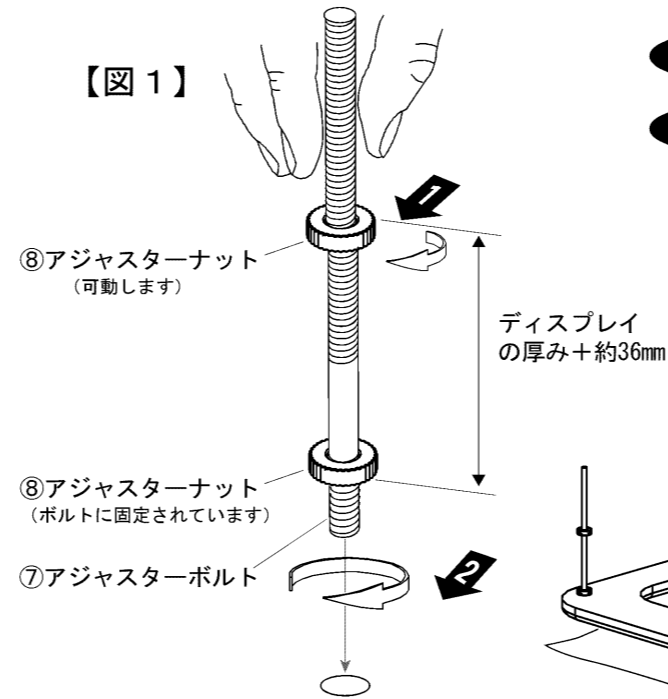


背面の下から覗いた図



## 9 フロントフレームの組み立て

【図1】



手順1

【図1】を参照して、上側の⑧アジャスターナットを取付けるディスプレイの厚み+36mmになるように調整してください。(微調整は次工程でします)  
(ディスプレイの厚みが30mm以下の場合、工程「2」で⑩スペーサーを使用の事)

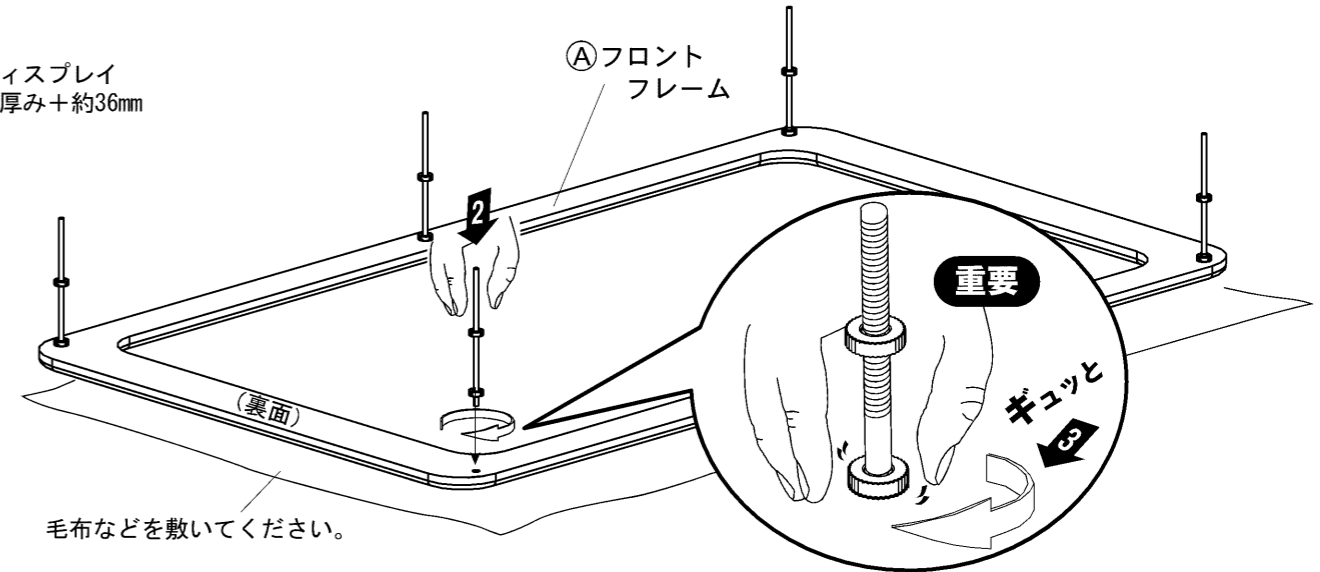
手順2

⑦アジャスターボルトを指先で、フロントフレーム裏面のネジ穴に取り付けてください。

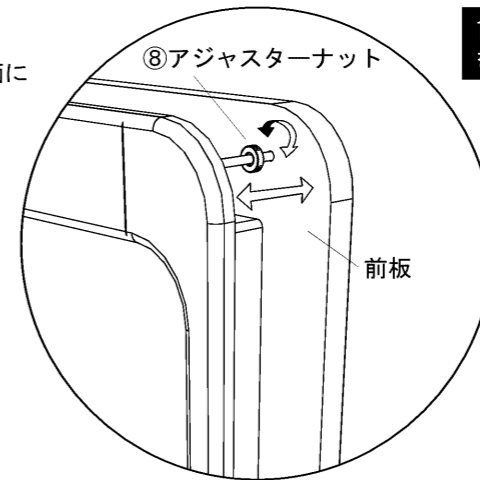
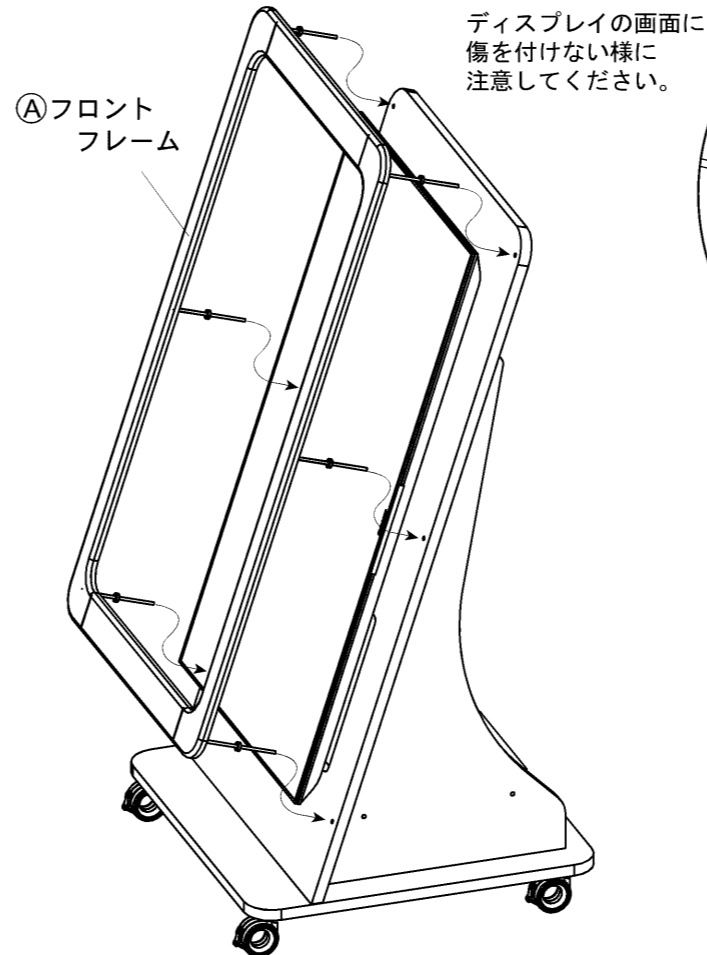
手順3

下側の⑧アジャスターナットを指先で、フロントフレーム裏面までしっかりと締め付けてください。

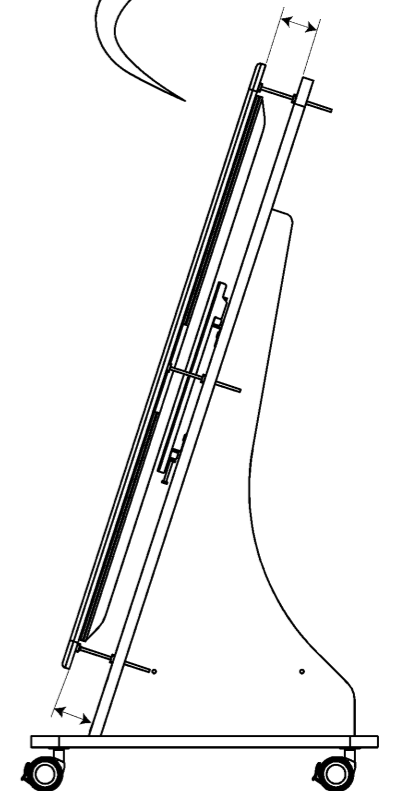
※締め付けが緩いと破損の原因となりますので、ご注意ください。



## 10 フロントフレームの取り付け

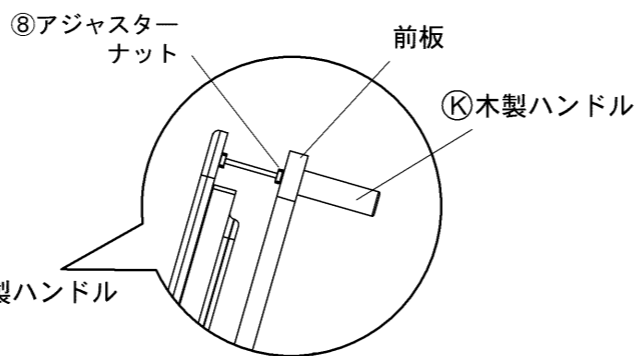


⑧アジャスターナットを回してフロントフレームとディスプレイが平行になる様に調整してください。その時、ディスプレイに不均一な力が掛からない様に、十分注意して6か所、高さを揃えてください。「1~2mmの隙間を空けてください。」  
⑧アジャスターナットと前板との間に隙間が出来ないように注意してください。

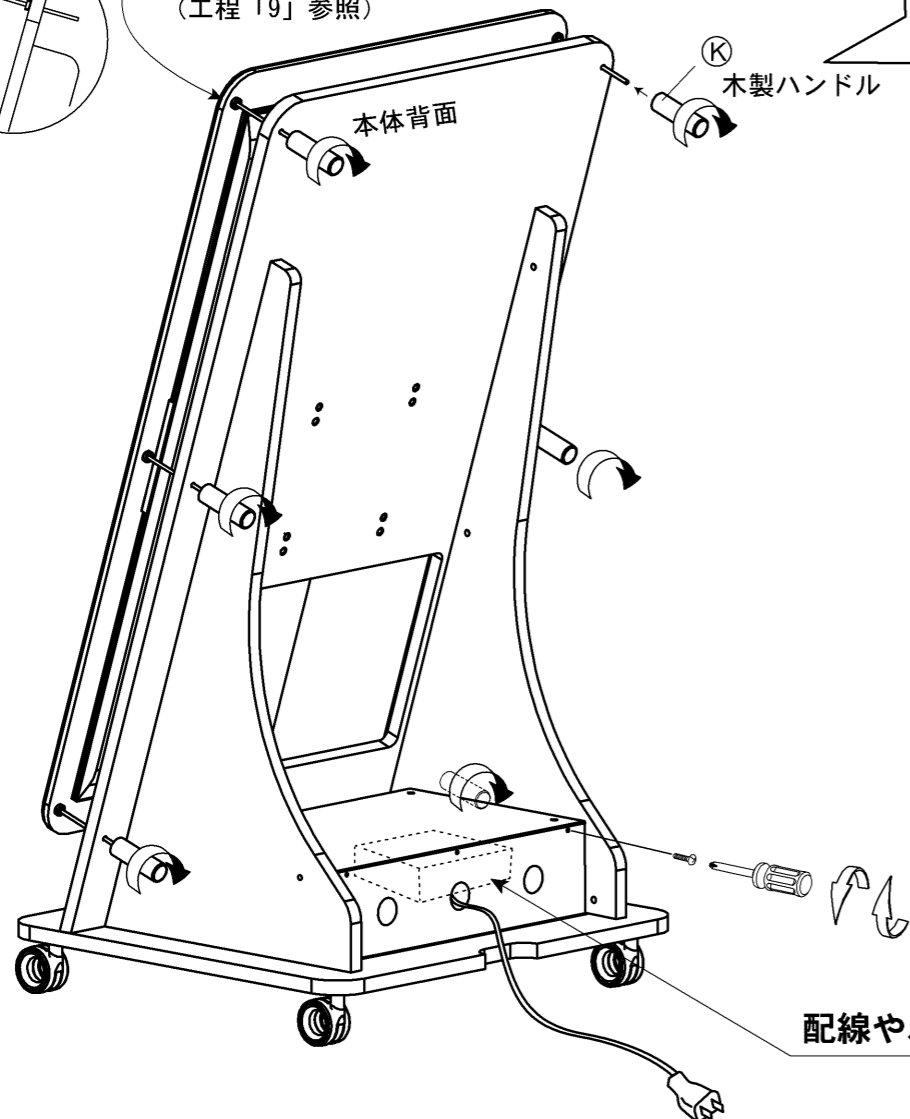


# 11 木製ハンドルの取り付け

**重要** 木製ハンドルを取り付ける前に、もう一度フロントフレーム側のアジャスターナットがしっかりと締まっているか確認してください。(工程「9」参照)



前板をアジャスターナットと木製ハンドルで挟み込むようにしてネジをしっかりと回して締め付けて固定します。

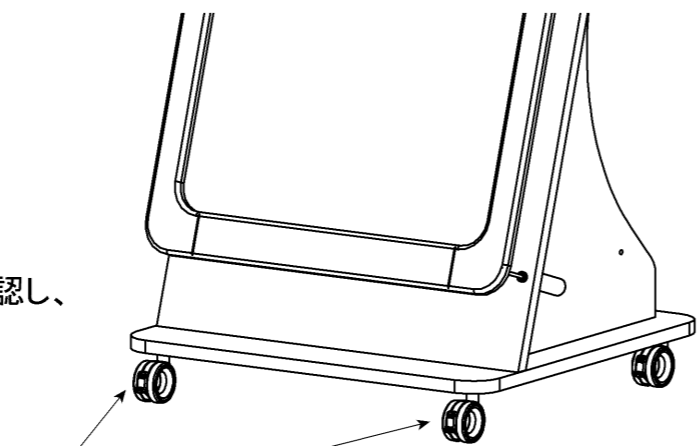


# 12 移動する時の注意事項

## 【ご注意】

移動させるときは、ディスプレイや接続機器の電源を切り、電源コードや外部との接続線を外してください。移動後は、木製ハンドルのネジが緩んでいないか確認し、もし、緩んでいる場合は、締め直してください。

移動させるとき以外は、必ずキャスターのストッパーを掛けてください。



ありがとうございました。

# 使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

- ディスプレイやスタンドにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください。スタンドが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。
- 振動のある場所に置かないでください。振動でディスプレイが落下したり、スタンドが転倒するなどして、けがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください。スタンドが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください。スタンドの強度が保たれなくなりディスプレイが落下したり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

## 注意

- 空調設備の吹き出し口、吸い込み口のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所に置かないでください。直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 移動・設置において
  - 移動させるときは取付けしている機器を持って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
  - 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
- 屋外など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。さびや故障・変形の原因となります。
- 手や指はさみにご注意ください。可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。
- 記載されている耐荷重以上は載せないでください。商品が破損したり、スタンドが転倒してけがをする恐れがあります。
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください。変形をしてディスプレイが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。
- ワックスが塗布されている場所に設置される場合は、キャスターの劣化に御注意ください。ワックスの成分によっては、キャスターの劣化を促進する恐れがあります。
- 転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置を行わないと、スタンドが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

PL賠償制度付共済

